

【学校教育目標】『自ら学び、ともに高め合い、たくましく生きる子どもを育てる』

進修小学校たより

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~sinsyu-e/>

令和6年10月16日

体育発表会に向けて

10月26日に予定されている体育発表会に向けて、表現の練習やいろいろな準備が進んでいます。開会式、閉会式の練習も始まりました。1年生から6年生までしっかりと整列することができています。

今年も、各学年の徒競走、1,2年生3,4年生5,6年生の団体競技、1,2,3年生4,5,6年生での表現の種目でプログラムを組んでいます。



低学年の表現は「爽涼鼓舞(そうりょうこぶ)」です。爽涼鼓舞は夏祭りをイメージしたテーマパークのダンスをもとにしています。子どもたちも動きをたのしみながら練習しています。本番での子どもたちのステキなダンスをおたのしみに。



高学年は、フラッグを使った表現を練習しています。「ひらり～イロを重ねて 思いを重ねて～」を題名として「僕のこと」「ひらり」の二曲に合わせて、フラッグを使った表現を行います。フラッグの振り方や一人ひとりの動きを中心に練習を重ねています。運動場では、隊形変化の動きも練習をしています。フラッグの動きや隊形変化をおたのしみにしてください。

い。



団体種目は1,2年生が「ころりんたまちゃん!!」3,4年生が「進修トルネード2024 GO!」5,6年生が「進修ファミリーレストラン」です。種目名から、どんな競技か想像できるでしょうか?

各学年の徒競走も練習していきます。子どもたち一人ひとりが活躍できる体育発表会になるでしょう。



日暮れが早くなっています

秋分の日を過ぎて、昼間の長さがどんどんと短くなっています。朝太陽が昇ってくる時刻も日々遅くなっています。つい先日には朝の5時過ぎに明るかったことを覚えています。今は6時過ぎにならないと日の光が届かなくなってきました。

それと同じように、日が沈む時刻が早くなっています。夏休みのころのように、いつまでも明るいということはありません。また、秋のころは日が沈み始めてから、暗くなるまでの時間が短くなるのも特徴です。

「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」という言葉もあります。釣瓶（つるべ）は今ではほとんど見かけることはありません。井戸の水をくむ道具です。

この釣瓶を井戸の中に入れるときに、あっという間に底につくことから、秋の日暮れに太陽があっという間に沈んでいく様子を表している言葉です。

放課後、運動場からは元気な子どもたちの声が聞こえてきます。5時の放送を聞いてみんなが家路につきますが、家に着くまでに暗くなっているのではないかと心配です。少しでも、早く安全に帰るようにしてほしいですね。また、暗くなってからも車などから少しでも早く気づいてもらえるように、反射材などを持っているのも一つの方法ですね。

ちょっと一言

鉛筆や箸の持ち方について

授業の様子を見に教室を回っていると、ときどき「その鉛筆の持ち方で、字を書いているの？」と感じる子どもがいます。1年生に入学したとき、鉛筆の持ち方を学習しているはずだと思いますが、時間がたつにつれて「自分が持ちやすい持ち方」「自分で書きやすい持ち方」になっているのでしょうか。



給食の時間に教室を回っている時も「その箸の持ち方では料理をつかみにくいだろうな」と思う持ち方で食べている子どももいます。日本の箸の使い方はとても便利にできていると思います。

もう一度箸や鉛筆の持ち方を見直してみませんか。